

# サルの被害を防ぐために



坂町には近年、サルの住宅地への出没や農作物被害が発生しています。  
サルについて正しく理解してみんなで対策をし、  
サルが出没しないまちづくりをしましょう！

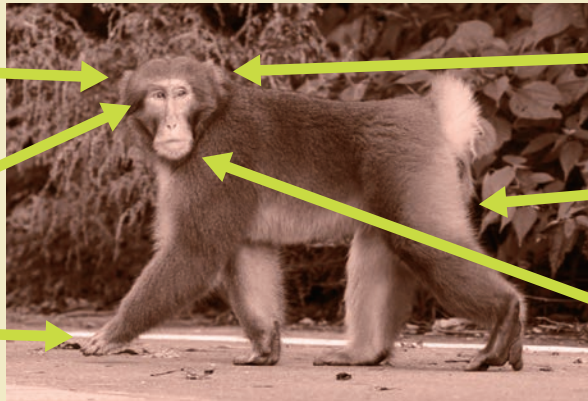
サルのこと、  
誤解してませんか？

## サルはこんな生き物です

記憶力は高く、  
餌が豊富な場所などは  
ばっちり覚えている

視力は人間に近く、  
色が識別できる

手先は器用で木登りは  
得意でも骨格の構造上、  
ものを投げられない



人よりもやや高い音  
まで聞き取れる

垂直2m、水平3mの  
跳躍力

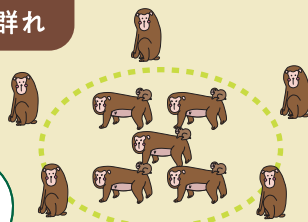
食べ物は植物質から  
昆虫などの動物質まで  
多岐に渡る

## ◎サルの集団の種類

### メスを中心とした大きな群れ

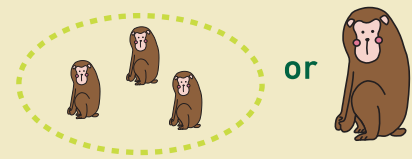
- 中心:メス+こども
- 周辺:若いオス

群れを率いているのは  
複数のメスザル。いわゆる  
ボスザルはいません。



### オスのみの単独または小集団

- 2~5頭程度の  
小集団が多い



- サルは本来、臆病で、人との接触を避けて行動する動物です。積極的に人にかみつくことはありません。
- しかし、農作物や柿の味を覚えてしまうと、人の生活領域に侵入してきます。
- 単独や小集団の個体は、多くの場合は移動中で、食べ物が無ければそのうちいなくなります。

知らず知らず、  
サルを誘引  
しているかも？

## なぜサルが出てくるの？

サルは理由もなく、住宅地や農地に出てくるわけではありません。  
その大きな理由の一つは、食べ物です。山の中にある木の実や葉  
よりも、美味しくて栄養の高い食べ物があるのです。知らない間に、  
サルを誘引しているかもしれません。

## ◎サルを誘引する可能性があるもの

- ・実のなる庭木
- ・放置された果樹(柿やかんきつ類)
- ・野菜くず
- ・防護が不十分な農作物



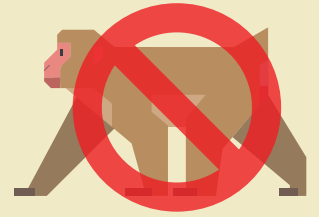
# サルの被害を防ぐには？

正しい対策で  
サルが出ない環境を

被害を防ぐためのポイントは2つ。

- 1 サルの食べ物となるものを取り除く・防ぐ。
- 2 人が怖い存在と認識してもらう。

これらをみんなで取り組むことで、人がいる地域は魅力がない場所だと思わせないようにしましょう。



## 果樹などはすべて採るか、伐採する

- ✓ 柿や栗、柑橘類は、サルに食べられる前に全て採りましょう。
- ✓ 実を採らない木は、放置すればサルに味を覚えさせ、住宅地や農地に接近するきっかけを与えてしまうので、伐採するか強剪定を。



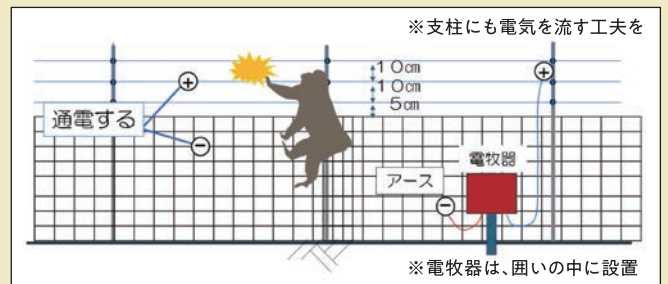
## 野菜くずや採り残しはダメ

- ✓ 野菜くずや採り残し、「人は食べないからいいや」って思っていないですか？
- ✓ サルに美味しい食べ物の味を覚えさせてしまいます。収集ゴミに出す、土にしっかり埋める、などして処分しましょう。



## 農作物や家庭菜園、正しく守っていますか？

- ✓ 畑を守るには電気柵が効果的。ワイヤーメッシュと組み合わせれば、イノシシの被害も防げます。
- ✓ ワイヤーメッシュと電気柵の隙間は5cm程度に。
- ✓ 設置後も、漏電などしてないか定期的にチェックを。
- ✓ 小さな家庭菜園は、上部もふさいで完全防護を。



## 意外と盲点、軒先の玉ねぎや干し柿など

- ✓ サルは目で食べ物を探します。
- ✓ 軒先に吊るした玉ねぎや干し柿は、サルから見えないような場所へ。

恐れずに  
みんなで追い払い！



## サルを見かけたら、出会ったら？

- サルは本来は人を怖がります。でも、人に見られても何もされなければ、段々と大胆な行動に出ます。
- そんなサルを増やさないためにも、サルを見たらみんなで追い払い、「人は怖い存在だ」「ここ(住宅地や農地)は恐ろしい場所だ」と認識してもらいましょう。
- ロケット花火などの飛び道具が無くて、石を投げる、音の出るものをたたく、大声を出す、だけでも効果があります。
- 群れを追い払う場合は、メスを狙って(子連れ個体はメス)。メスが逃げれば、周りにはいるオスも自然について行きます。
- もし一人でいて、威嚇されそうになった場合も、傘を開く、石を投げる、などしてください。背を向けて走って逃げると、追いかける可能性があるため、目を見てゆっくり後ずさり。

## 坂町の取組み

サルの被害を防ぐために、坂町も対策を行っています。

- 生息状況や被害状況等の情報収集
- 被害を出す個体の捕獲
- 専門機関と連携した現地調査や住民のみなさまへの情報提供

